

# OSAMPO ナビゲーションの提案

0232081 仲尾卓馬 0332091 千葉佳佑

指導教員： 屋代 智之 助教授

## 1. はじめに

歩行者ナビゲーションの利用者数は年々増加しており、歩行者ナビゲーションに対する要求も多様化してきた。これに伴い、目的地までの経路探索をするだけでなく、目的行動(食事・娯楽)を達成するための目的地の検索が出来るなど、歩行者ナビゲーションに対して、経路探索以外の機能も求められるようになってきた。

そこで、本研究では空き時間を有効に活用するための OSAMPO ナビゲーション(OSAMPO)を提案する。

## 2. 提案システム概要

従来の歩行者ナビゲーションは、通常、目的地決定後に到着時刻が表示される。しかし、例えばスケジュールの空き時間である目的行動を達成したいというユーザを考えると、店舗検索時に一店舗づつ往復時間を確認しなければならず効率的ではない。OSAMPOでは、設定画面で現在時刻とユーザの「戻りたい時間」の入力から空き時間を算出し、時間内に往復できない店舗を除外して表示するため、効率的に目的行動をとることが可能な店舗の検索が行える(図1)。また、各店舗にどのくらい滞在できるかを表示することで、目的地選択のアシストが可能である(図2)。

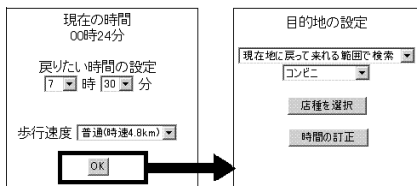


図 1: 設定画面

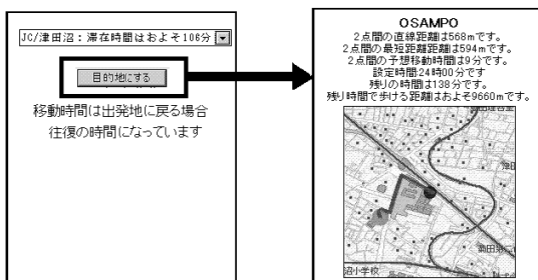


図 2: 店舗検索画面

また、空き時間に目的行動を持たないユーザの場合、その間に自由散策を行うことがある。この場合、OSAMPOでは、散策中のユーザの持ち時間と目的地までの移動時間を考慮し、空き時間の残りが少なくなるとユーザにそれを知らせる。このとき、端末の画面には現在地から目的地までの最短距離経路が表示される。

## 3. 実装

本研究で提案する OSAMPO は Web アプリケーションとして作成した。本システムは携帯電話などのユーザ端末から Web サーバにアクセスすることで動作する。システム構成を図3に示す。

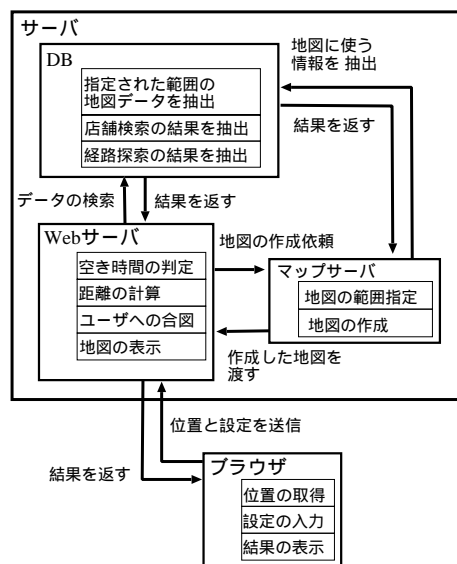


図 3: システム構成図

## 4. まとめ

本研究ではユーザの空き時間をより有効に活用するための OSAMPO ナビゲーションを提案し、実装した。実際に使用したところ、空き時間内に到着できる店舗の検索や空き時間が残り少なくなったときにユーザに知らせる機能を確認することができた。

## 文 献

- [1] 川端将之, 岩橋真紀, 日裏博之, 上田真由美, 上島紳一, 利用者コンテキストを考慮した歩行者ナビゲーション方式の提案と利用可能性の検討 電子情報通信学会第16回データ工学ワークショップ, 第3回日本データベース学会年次大会 (DEWS2005), 3A-12, 2005-03